

熊本県立大学屋外環境データ収集処理用システム仕様書

1 仕様目的

熊本県立大学屋外環境データ収集処理用システム（以下「本システム」という。）は、主に環境共生学部環境共生学科居住環境専攻の学生への教育（居住環境調整工学実験、環境設備システム学演習、環境調整工学、環境共生総合演習等の実習・実験等）、教員の研究、学生の卒業研究等に活用している。

今回の更新は経年による陳腐化等に対応するためであるが、更新により、次の機能を確保するものとする。

- ・画像データを多用し、ビジュアルに訴えたわかりやすく円滑な講義
- ・デジカメなどによる画像データと収集記録したデータの解析結果を併用した論文、レポートの作成
- ・最新ソフトウェアを使用した教育

2 借入物品、数量及び設置場所

借入物品、数量及び設置予定場所は、以下に示すとおりである。

借入物品	数量	設置場所
データ収集装置	2セット	環境共生学部西棟4階 地域環境調整工学研究室 ほか
データ記録装置（ノートパソコン）	2セット	
データ処理装置（デスクトップパソコン）	2セット	
データ出力装置（カラープリンター）	1セット	
ネットワーク装置（スイッチングハブ、その他）	1セット	

3 納入期限

令和6年（2024年）3月29日（金）

なお、落札決定後直ちに納入スケジュールを作成し、本学総務課職員の承認を得ること。

4 納入条件

納入の条件は、別表及び次にあげる事項を満たすものとし、これらの納入条件を全て満たした時点（稼働後に必要なものについてはそれが保証された時点で）で納入が完了したものとする。

また、機器の借入代金には、搬入、配線、接続、設置、設定および動作確認などに必要な材料その他一切の経費を含むこと。

なお、仕様書に記載されていない事項については、本学担当者と落札業者との打ち合わせによるものとする。特に、技術的内容については、本学担当者に説明の上、了解を得ること。

- ① 調達した全機器について、外観上異常がないこと及び動作等を確認すること。
- ② 機器に搭載されたアプリケーションソフトウェア等は、個別にサンプル事例を実行して動作確認するとともに、学内 LAN に接続され、通信等が問題なく行えることを確認すること。
- ③ 調達した全機器に必要なドライバ、ケーブル等の接続部品等を用意すること。
- ④ プリンタなどの出力用ハードウェアは、性能検査用サンプルを出力して動作確認すること。
- ⑤ ソフトウェアは、日本語最新版とする。また、指定しない限り市販の製品とし、稼働ソフトの動作保証が取れているものとする。
- ⑥ デバイスドライバは、納品日時点で最新のものを付けること。必要であればインターネットよりダウンロードすること。また、そのデバイスドライバは CD または DVD 等のメディアで納品すること。
- ⑦ データ記録装置のリカバリメディア、データ収集装置の復旧ディスクは、ユーザーに配布直前の初期設定が完了した時点で作成すること。
- ⑧ 据付調整作業により、既設の教育機器などに機能障害が生じた場合は、落札者の責任により速やかに機能復旧に努めること。
- ⑨ ハードウェアのサポートについては、契約後 5 年間は、調達物品が故障した場合、無償で交換及び修理を行うこと。サポートは、本学へ出向いて行うオンサイト保守とすること。ただし、データ収集装置については契約後 1 年間、データ処理装置については契約後 3 年間でよいものとする。
- ⑩ ハードウェアの故障時、障害発生の保守対応については、ユーザーに配布した時点の状態まで復旧すること。
- ⑪ ソフトウェアのサポートについては、契約後 5 年間は、不具合に関する相談や操作説明などが受けられること。ただし、各ソフトウェアのメーカーによるサポートではなくてもよいものとする。
- ⑫ Adobe Creative Cloud のライセンス割り当てを本調達の対象パソコンに設定する場合、インストール作業等についてアドバイスすること。